

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

～北見版～

くらしを支える税

第 24 号

平成 24 年 2 月

北見市租税教育推進懇話会

今年も、早いものでもう一月が過ぎ、2月に入りましたね。
まだまだ寒い時期ですが、インフルエンザなどにかからず、春を迎えたいものですね
ところで、国民の三大義務の一つ「納税の義務」のある方（個人）は、
今月（2月）16日（木）から3月15日（木）までの間に平成23年分の
所得税の確定申告を行い、納税しなければなりません。

現在、所得税の申告を行う方などで、北見税務署や北見市は混雑しております。
そこで、今回は「所得税」についてです。



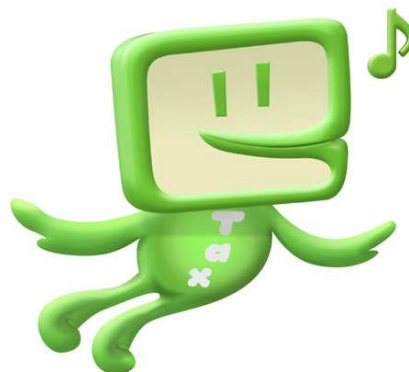
税のネタ帳

～「所得税」～

【国税庁メールマガジンほかより】

日本に所得税が導入されて、今年で「125年」を迎えました。
所得税は、明治20年（1887年）に導入されました。
導入当初の所得税の税率は、所得高に応じて第1等から第5等までの等級ごとに設定されていました。
ちなみに、各等級の対象者及び税率は、

所得高	税率
・ 第1等が3万円以上	～ 3%
・ 第2等は2万円以上3万円未満	～ 2.5%
・ 第3等は1万円以上2万円未満	～ 2%
・ 第4等は1千円以上1万円未満	～ 1.5%
・ 第5等は300円以上1千円未満	～ 1%



Q 所得税が導入された明治20年当時、第1等の人たちは全国で何人くらいいたのでしょうか？

A 63人です。

地域別に見ると、東京府（現在の東京都）が45人と最も多く、ついで神奈川県が7人、大阪府、三重県及び鹿児島県が各2人となっています。

この年(明治20年)の第1等の納税者の内訳を見ると、旧公家や大名出身の華族が半数以上を占めていました。

第1等の納税者が東京府に飛び抜けて集中しているのは、廃藩置県の際にかつての大名が東京府に住むことが義務付けられたことが理由として考えられています。

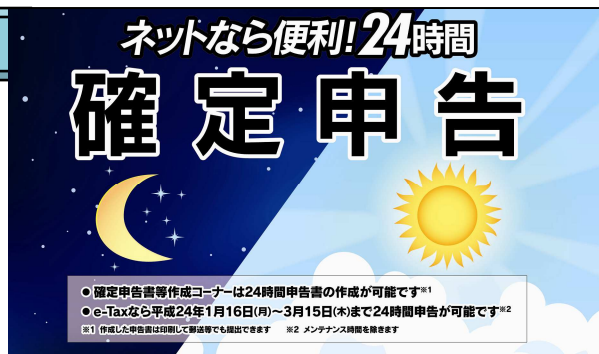
なお、資本主義経済が定着した昭和5年の統計では、第1等の納税者のほとんどを資本家が占めるなど、経済構造の時代変化がうかがえます。

※ 所得税導入当初は、所得300円以上の人が全国で12万人と少なかったことから、所得税を納税することがステータスシンボルとなり、別名「名誉税」と称されることもあったとのこと。

学級担任の先生・社会科の先生に『税』の話題を提供！

平成 21 年分及び平成 22 年分の確定申告書の提出状況

- 全国
 - ・平成 21 年分 2,367 万 4 千人
(内 申告納税額ある人員 717 万 6 千人)
 - ・平成 22 年分 2,315 万人 (前年比 52 万 4 千人減)
(内 申告納税額ある人員 702 万 1 千人)
- 北見税務署
 - ・平成 21 年分 24,191 人
(内 申告納税額ある人員 8,259 人)
 - ・平成 22 年分 24,260 人 (前年比 69 人増)
(内 申告納税額ある人員 8,372 人)



右のポスターは、平成 23 年分の所得税確定申告用のポスターです。前年、全国で自宅等から IT を利用して申告した方が 544 万人です。また、北見税務署管内でも自宅等から IT を利用して申告した方が 3,583 人です。

インターネットを利用して、確定申告書の作成し提出する方が増えていることを受けて、自宅等に居ながら好きな時間にいつでも確定申告をすることができる (24 時間利用可能) というメッセージのポスターになっております。今は便利なネットを利用する時代ということですかね。

租税教育に関するアンケートのお願い

北見市租税教育推進懇話会では「租税教育に関するアンケート」を行っております。

アンケート用紙は、各学校に配布しておりますので、御回答をお願いいたします。

なお、提出につきましては同封の封筒を御利用願います。

また、回答期限は 3 月 30 日(金)となっておりますので、よろしく願います。

取りまとめ等は、北見税務署で行っておりますので、質疑などは下記の問い合わせ先をお願いいたします。

(小学校用)

(中学校用)

【お問い合わせ先】

北見市租税教育推進懇話会又は
北見税務署 税務広報広聴官
加 賀 貢
北見市青葉町 3 番 1 号
Tel 0157-23-9160【直通】

『税』に関する資料がほしい』

『『北見版 暮らしを支える税』でこんな話題を取り上げてほしい』など、皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。